

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 5月 30日	
山口県知事 様	
提出者 住 所 山口県周南市小川屋町1番5号 氏 名 コーウン産業株式会社 代表取締役社長 升 田 伸 治 電話番号 0834-63-4100	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	コーウン産業株式会社
事業場の所在地	山口県周南市小川屋町1番5号
計画期間	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	・窯業・土石製品製造 ・建築材料、鉱物、金属材料等卸売業、その他小売業
② 事業の規模	売上高：39億33百万円
③ 従業員数	29名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	【汚泥】 汚泥濃縮→上澄水、脱水処理(再利用)→ケーキ(天日乾燥)→セメント原料資源 【コンクリートくず】 戻りコンクリート敷き均し→翌日剥ぎ取り→ふるい破碎処理→回収骨材 →路盤材料有価品 【廃プラ】 選別、破碎、加熱圧縮、安定埋立 【きくず】 選別、破碎、燃料、ボード原料 【金属くず】 選別、切断、圧縮、製鋼材料

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙－１のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	
	排 出 量	14,775 t	t
	(これまでに実施した取組) 生コン車のドラム内洗浄水の使用量を減らすなどの対応は行っているが、洗車回数等についての対策が困難な状況にある		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	
	排 出 量	12,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 同上		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥は、濃縮から脱水までの処理を行っている。 処理水については、再利用している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（上澄水・脱水処理水）	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	13,697 t	t
	（これまでに実施した取組） 汚泥から発生する脱水処理水等は、生コン製造原料（練水）および生コン車ドラム内の洗浄水として再利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（上澄水・脱水処理水）	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	11,000 t	t
	（今後実施する予定の取組） 同上		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現 状	【前年度 2024年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (ウエス)	木くず
	排 出 量	0.89t (0.02t)	1.27t
	(これまでに実施した取組み)		
	【廃プラ】 発生要因となる顧客からの注文による袋詰めの製品使用後の空袋が多く、排出抑制については困難である。 【木くず】 機械設備等の更新の際、機器梱包に使用された木くずのため排出抑制については困難である。		
②計 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (ウエス)	木くず
	排 出 量	1.00t (0.50t)	1.00t
	(今後実施する予定の取組み)		
	・同 上		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み) ・廃プラ類(ウエス)の油分が浸み込んだウエス等の分別 ・木くずに打ち込まれた釘の撤去		
②計 画	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み) ・同上		

(第2面)

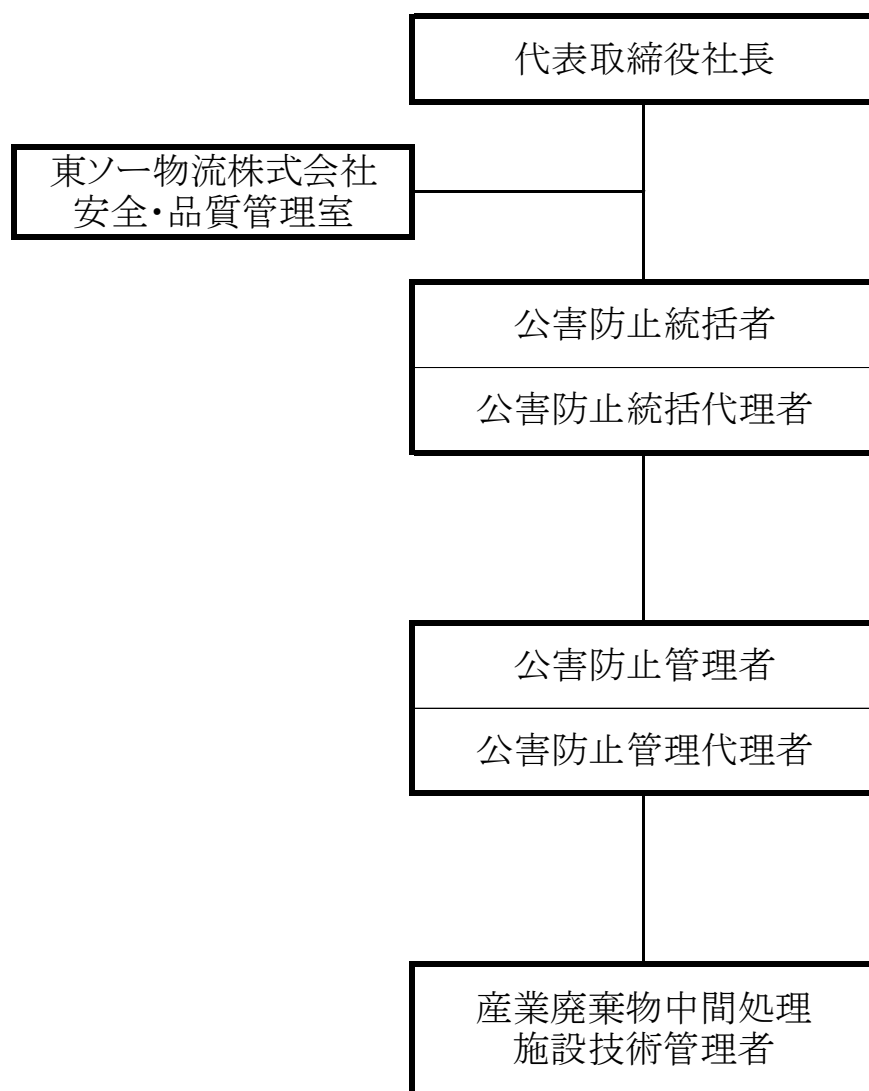
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現 状	【前年度 2024年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず
	排 出 量	0.02t	0.04t
	(これまでに実施した取組み)		
	【紙くず】 顧客からの注文の製品が梱包された紙くずであるため、抑制的には困難である。 【金属くず】 設備更新等の一部、部品であるため抑制的には困難である。		
②計 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず
	排 出 量	0.05t	1.00t
	(今後実施する予定の取組み)		
	・同 上		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み) 分別については特に行っていない。		
②計 画	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み) 同上		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現 状	【前年度 2024年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥(スラッジケーキ)
	排 出 量	14, 775t	1,078t
	(これまでに実施した取組み)		
	汚泥については、生コン車のドラム内洗浄からの発生数量が最も多いため洗浄水の使用量を減らすなどの対応を取っているが、中々、排出量を抑制出来ていないのが現状		
②計 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥(スラッジケーキ)
	排 出 量	12,000t	1,000t
	(今後実施する予定の取組み)		
	引き続き、洗浄水の使用量削減に向けて取り組んで行く		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み) ・ 汚泥を脱水機に通し澄水とケーキに分別している		
②計 画	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み) ・ 汚泥を脱水機に通し澄水とケーキに分別している		

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現 状	【前年度 2024年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	ガラス陶磁器くず
	排 出 量	5, 666t	0.20t
	(これまでに実施した取組み)		
	【ガラスくず、コンクリートくず】 排出要因の大半が顧客先から持ち帰りとなった生コンクリートのため抑制への対応は困難である。		
②計 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	ガラス陶磁器くず
	排 出 量	6,000t	0t
	(今後実施する予定の取組み)		
	【ガラスくず、コンクリートくず】 前期並みの数量を予定		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み) 分別については特に行っていない		
②計 画	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み) 同上		

【産業廃棄物処理に係る管理体制】



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(2024年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (ウエス)	木くず
	全処理委託量	0.89t (0.02t)	1.27t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.89t (0.02t)	1.27t
	再生利用業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	(これまでに実施した取組み)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (ウエス)	木くず
	全処理委託量	1.00t (0.50t)	1.00t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1.00t (0.50t)	1.00t
	再生利用業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	(これまでに実施した取組み)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(2024年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず
	全処理委託量	0.02t	0.04t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.02t	0.04t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組み)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず
	全処理委託量	0.05t	1.00t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.05t	1.00t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組み)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(2024年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(スラッジ・ケーキ)	
	全処理委託量	1,078t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,078t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組み)		
	汚泥を脱水処理し、ケーキを天日乾燥後、セメント原料資源としている		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(スラッジ・ケーキ)	
	全処理委託量	1,000t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,000t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組み)		
	同上		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(2024年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	ガラス陶磁器くず
	全処理委託量	5,666t	0.20t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		0.20t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組み)		
	コンクリートくずは、回収骨材、路盤材料として有価品		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	ガラス陶磁器くず
	全処理委託量	6,000t	0t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組み)		
	同上		

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和7年度計画)

多量排出事業者 名 称	コーウン産業株式会社	所在地(市町名)	周南市	事業の種類	・窯業・土石製品製造 ・建築材料、鉱物、金属材料等卸売業・その他小売業
-------------	------------	----------	-----	-------	--

(単位：トン)																					
区分	種 類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	燃え殻																				
	汚泥	14,775	12,000	13,697	11,000							1,078	1,000			1,078	1,000				
	廃油																				
	廃酸																				
	廃アルカリ																				
	廃プラスチック類	0.91	1.5									0.91	1.5	0.91	1.5						
	紙くず	0.02	0.05																		
	木くず	1.27	1.0									1.27	1.0	1.27	1.0						
	繊維くず											0.02	0.05	0.02	0.05						
	動植物性残さ																				
	動物系固形不要物																				
	ゴムくず																				
	金属くず	0.04	1.00									0.04	1.00	0.04	1.00						
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	5,666.2	6,000									0.2	0.0	0.2	0.0						
	鉱さい																				
	がれき類																				
	動物のふん尿																				
	動物の死体																				
	ばいじん																				
	13号廃棄物																				
計 (A)		20,443.44	18,003.55	13,697	11,000	0	0	0	0	0	0	1,080.44	1,003.55	2.44	3.55	1,078	1,000	0	0	0	0